

平成28年度 農作業安全組織計画・運営研修

計画・運営コース 開催要領

- 1 開催日時 平成29年1月26日(木) 9:30-16:15
- 2 開催場所 農林水産省農林水産研修所つくば館水戸ほ場
(茨城県水戸市鯉淵町 5930-1)
- 3 主催 農林水産省農林水産研修所つくば館
- 4 定員・受講対象 30名(農業法人及び経営組織体の幹部、都道府県職員など)
- 5 受講料 無料

※受講申込・お問合せは、農林水産省農林水産研修所つくば館(TEL 029-839-9481) 飯田まで

6 日程

- 9:30 開講、オリエンテーション
- 9:45-11:15 人員の雇用と労働安全衛生法
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会顧問(元専務理事) 後藤博俊
人員を雇用して作業を実施する(させる)状況において、作業従事者の安全の確保は、労働安全衛生法等の関係法令に基づいて求められている。農業においても人員を雇用して確保する場面は少なからず存在するとともに、グローバルGAPを含む各種GAPにおいて関係法令に従っていることは当然の前提とされている。関係法令が事業者にとって求めている内容の要点について説明を行う。
- 11:20-12:00 機械作業において具体的に求められる対応
(社会保険労務士・労働安全コンサルタント藤原事務所 所長 藤原歳郎)
フォークリフト、油圧ショベル等、農業でも他産業でも利用する場面が想定される機材に関して、作業中の災害の発生を防止する観点から作業実施上の具体的な留意ポイント等について説明を行う。
- 13:00-14:00 乗用型トラクターの所有と利用等に関する諸規制
(農林水産研修所つくば館)
農作業において乗用型トラクターは広く利用されているが、道路上での運転を想定した運転免許を取得する際以外には、操作上の留意点等も含めて知識・情報を吸収できる機会が少ない状況にある。しかし乗用型トラクターの利用においても、道路運送車両法等の関係法令に基づいた規制は存在している。これらの規制の概要について説明を行う。
- 14:15-15:45 リスクアセスメント(RA)のアウトライン
(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会顧問(元専務理事) 後藤博俊
作業場面での災害発生防止または発生時の被害程度の軽減は、経営上重要な業務となるが、限られた経営資源(人員、予算、時間等)をより有効に活用することが大切である。そのためには潜在的な危険性を洗い出し、それらの危険性の程度を評価することにより対策を実施すべき対象を検討することが有効である。この手法は一般にリスクアセスメント(RA)といわれているが、そのRAの概要について説明を行う。
- 15:50-16:15 質疑応答
16:15 閉講